



現在は課題に挙げる持久力の強化に取り組んでいる

伊藤ふたば

松岡中学校3年、160cm。2002年4月25日生まれ、盛岡市出身。小学3年生から競技を開始。2015年から2年連続でアジアユース選手権大会優勝、2016年の世界ユース選手権大会ボルダリング2位。今年1月のボルダリングジャパンカップでも優勝を手に入れている。

伊藤ふたば

Futaba Ito

スポーツクライミング

普段は岩手県営運動公園でトレーニング。長い手足と柔軟性が彼女の武器だ

照準は東京五輪 世界2位の中学生クライマー

エイト・オリンピックス・プロジェクト

いることは素直にうれしく思います。日本代表の合宿などでいっしょに練習するのも楽しいですし、勉強になります」

憧れであり、最高のお手本となる選手との時間が彼女にとって大きな刺激とモチベーションになっている様子だ。

伊藤選手の強みは長い手足と柔軟性にある。毎日1時間程度の柔軟を欠かさず行い、特に大会前には食事制限も設け、ストイックな姿勢を貫く。夢は3年後のあの舞台での活躍だ。

「東京オリンピックでの表彰台というのが今の夢です。もっともっとレベルアップしなきゃならないし、オリンピックではボルダリングだけでなく、リード、スピードという3種類の得点で争うので、3種目で勝負できるクライマーになりたいです」

そう話す彼女に朗報が届いた。岩手県営運動公園内に国内でも非常に少ないスピードウォールの設置が決まった。これ

オリンピック選手の輩出を目指す プロジェクトが始動

今年の3月、盛岡広域圏が一体となってスポーツツーリズムを推進するため、盛岡広域スポーツコミッションが設立された。選手の強化支援、大会や合宿の誘致、情報発信など、スポーツを通じた地域活性化の促進となるさまざまな事業を展開する。

その取り組みの一環が「エイト・オリンピックス・プロジェクト」だ。これは盛岡広域8市町（盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）からオリンピック選手の輩出を目指すプロジェクトで、主に2018平昌・2022北京冬季オリンピック、2020東京オリンピックを目指す若きアスリートの練習環境の整備や合宿遠征の支援などを行う。

スタンダードでは今回よりこのプロジェクトが支援する若手有力アスリートをシリーズで紹介する。盛岡広域8市町で生まれた、あるいはそこで育ったアス

たば

で同敷地内ではボルダリング、リード、スピードというすべての種類のトレーニングが可能となる。平成29年度完成予定だが、合宿などで全国のトップアスリートが訪れる機会が増えるなど、その効果は計り知れない。

「競技をやめたいと思ったことはない」と話す伊藤選手だが、それでも結果が出ずに苦しんだ時期はある。そんなとき支えになったもの、そして立ち返るべき場所はどこにあるのだろうか。

「やっぱり家族や関係者の皆さん、仲間の存在はすごく大きなものがあります。それと、自分自身、すごく負けず嫌いな性格で、本当に負けることが嫌だし、悔しい。次は絶対負けたくないからがんばれるというのがあると思います」

これまでは結果や自分の出来に関してネガティブな言葉を漏らすことがあったと話す、昨年の合宿でスロベニアのコーチに「ネガティブな発言は必ず自分

リードの実績を取り上げるとともに、トレーニングや目標、夢について迫る。

東京オリンピックでの 飛躍を誓う中学3年生

その第一弾はいまや時の人でもあるスポーツクライミングの伊藤ふたば選手。2014年のJOCジュニアオリンピック大会アンダーユースBで2位に輝くと、国内では上位の常連となり、2015年、2016年のアジアユース選手権大会を連覇。世界ユース選手権大会のボルダリングで2位、今年1月のボルダリングジャパンカップでは競技を始めてすぐに憧れを抱いていた世界女王・野口啓代選手を破って頂点に立った。

「ジャパンカップでは（野口）啓代ちゃんに勝てましたけど、実力ではまだまだかないません。でも、競技を始めたときから尊敬していた人と同じ舞台に立てて



握力や指先の強さもクライマーに問われる資質のひとつだ

に返ってくる」という言葉を聞いてからは一切弱音を吐かなくなったという。中学3年生になったばかりの彼女だが、大舞台で結果を残すトップアスリートに必要なメンタルも日に日に成長させている。

東京オリンピックまで約3年。その間、彼女はどのような成長曲線を思い描いているのだろうか。

「まずは持久力などの苦手部分を克服して、大会で結果を残していくことが自信につながると思います。今年は9月の世界ユース選手権大会。去年2位だったので優勝したいですし、昔からの憧れだったW杯優勝も目指したいです」

東京オリンピックの出場枠は狭き門だ。同世代のライバルも多く存在する。しかし、その中でも伊藤選手は最有力候補のひとつである。イメージするのは4年に1度の祭典で躍動する姿。感謝と決意を胸に、夢舞台での「完登」を目指す。



盛岡広域スポーツコミッション

●設立/平成29年3月28日 ●会長/谷藤裕明

盛岡広域市町(8市町)

●盛岡市 ●八幡平市 ●滝沢市 ●雫石町 ●葛巻町 ●岩手町 ●紫波町 ●矢巾町

構成団体(13団体)

●公益財団法人盛岡市体育協会 ●一般社団法人八幡平市体育協会 ●公益財団法人滝沢市体育協会 ●一般財団法人雫石町体育協会 ●特定非営利活動法人葛巻町体育協会 ●一般財団法人岩手町体育協会 ●一般財団法人紫波町体育協会 ●特定非営利活動法人矢巾町体育協会 ●盛岡商工会議所 ●株式会社岩手スポーツプロモーション ●株式会社いわてアスリートクラブ ●国立大学法人岩手大学 ●公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

事務局

〒020-8530 盛岡市内丸3-46 盛岡市役所内丸分庁舎4階
TEL:019-603-8009 Mail:sports-1@city.morioka.iwate.jp